

ほけんだより

朝晩の冷え込みや空気も乾燥してきており、体調を崩しやすい時期がやってきました。インフルエンザやノロウイルスなど冬に多い感染症も流行しやすい時期です、手洗い・咳エチケットなどの感染症対策、規則正しい生活を送るように心がけましょう。

下痢・嘔吐に気を付けましょう

保育所ではよく嘔吐や下痢が発生します。子どもの冬場の胃腸炎としては、ほとんどの場合ウイルスが原因です。ノロウイルス・ロタウイルス・アデノウイルスは嘔吐・下痢、発熱が主な症状です。

脱水症に気を付けよう

嘔吐や下痢が続くと水分と塩分が失われます。元気がなく皮膚の弾力がなくなる、ぐったりしているなどの症状が見られます。水分補給は一回にたくさん飲むのではなく少量ずつゆっくりと飲むようにしましょう。



嘔吐・下痢のケア

ウイルスは症状が回復後も排泄物に排出されます。おむつの取り扱い、トイレ周辺のお掃除を念入りに行うようにしましょう。おむつ着用のお子さんは特にお尻のかぶれに注意が必要です。



☆おねがい☆

- ☆ 保育所で汚れてしまった衣類は感染拡大防止のため洗わずお返ししています。ご協力をお願いいたします。
- ☆ 下痢や嘔吐が保育所で複数回みられる際などには、お迎えをお願いする場合があります。
- ☆ 症状がおさまり、普段通りの食事が摂れるようになれば登所は可能です。
- ☆ 手洗いは石鹸を付けて洗うことが一番効果的です。お家でも食事前などには必ず手洗いをするようにしましょう。

インフルエンザの予防接種が 始まっています

インフルエンザの予防接種が開始されています。中学生以下のお子さんは2回の接種が必要となります。接種をして約2週間経たないと効果が現れないので、接種を考えている方は流行期に入る前に済ませるようにしましょう。接種をしても罹患しないというわけではありませんが、重症化や合併症のリスクを軽減させることができますと言われています。

★ 予防接種を予約する際は、副反応を考え平日お休みの日や午後にできる日を選ぶと安心です。

皮膚のトラブルに 注意しましょう!!

～1(い)1(い)1(ひ)2(ふ)の日と言われています～
秋から冬にかけて気温が低くなると、空気も乾燥します。大人も子どもも皮膚が乾燥しがちです。ひどくなるとカサカサになって粉をふいたように白くなります。また、皮膚が乾燥すると、かゆみを伴うこともある為、かきこわしがさらにひどい状態になりやすくなります。そうならないためにも、入浴後や着替えの時など、こまめに保湿剤を塗るようにしましょう。



11月の身体測定

ひよこ組：4日	りす組：5日
あひる組：10日	うさぎ組：8日
ぞう組：12日	きりん組：1日

★ 乳児健診：4日

発熱や、下痢のお子さんが増えています。発熱の際など、連絡してもすぐに繋がらないことがあります。お仕事の都合もあるかと思いますが、連絡した際には、なるべく早めのお迎えのご協力をお願いいたします。37.5℃の発熱でお迎えをお願いしています。解熱し24時間以上経過し、呼吸器症状などが改善されたら登所は可能となります。ご協力をよろしくお願いいたします。